

平成 29 年度 伊勢地域公共交通会議 第 1 回 議事要旨

■ 開催概要

日時：平成 29 年 6 月 20 日（火）13:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4 階 4-2 会議室

出席者：全 9 名

市民代表 1 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通（株）伊勢営業所長）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県タクシー協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合 執行委員長）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署

1 名（交通官）

三重県

1 名（地域連携部交通政策課長代理）

伊勢市

2 名（市長・都市整備部長）

事務局

4 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

■ 議事内容

地域公共交通会議の運営方法等について、中部運輸局三重運輸支局より資料を用いて説明。

■ 平成 28 年度 事業報告について

■ 平成 28 年度 事業収支決算について

平成 28 年度 事業報告及び平成 28 年度 事業収支決算は相互に関連するため一括審議とし、事務局より資料を用いて説明。

提案事項に関しては、原案どおり承認をいただいた。

■ 生活交通確保維持改善計画の平成 30 年度認定申請についてについて

事務局より、生活交通確保維持改善計画の平成 30 年度認定申請についてについて、資料を用いて説明。

利用状況に波があるが、利用者数の推移について分析を行ったか。(会長)

⇒平成27年度は利用者が増加したが、平成28年度は減少した。特に2ルートで減少しているため、バス停別乗降者数等を分析して原因を把握に努めたい。(事務局)

二見ルートの利用が増加しているが、どのような要因が考えられるか。(市民代表)

⇒要因については、地域事情が変わったということはない。年間利用者数は日常的に利用するコアな利用者の動向に大きく影響を受ける傾向があり、そうした要因によるものではないかと考えている。(事務局)

利用状況については、路線バスを含めた全ての公共交通機関のものを情報共有できるようにしてほしい。(中部運輸局三重運輸支局)

路線バスも含め、路線が使われる可能性が高い範囲について、バス停からどの程度の距離の範囲で設定するかが今後重要となってくる。新しい団地の造成等、人口動態も考慮しなければならない。利用状況の分析にあたっては、利用者の声を把握しながらきめ細やかに対応していただきたい。(会長)

三重交通(株)から利用状況等に関する資料を提供いただきたい。(伊勢市)

辻久留・藤里ルートは通勤・通学で利用いただいているようであるが、4便及び1便で利用者が減少している。ルート沿線の商業施設等で入込客数や客層等の利用状況が提供いただけるか。明野ルートは今後も注意して利用状況を把握することが必要ではないか。全てに対応していくことは困難なため、減少が予想されるルート等に対象を絞って取り組むことも必要。(市民代表)

おかげバス利用者の年代構成はどのようになっているか。(三重県伊勢警察署)

⇒平成25年に実施したおかげバス利用者アンケートでは、50代以上が回答者全体の8割近くを占めた。(事務局)

運転免許の自主返納について広報等の取組みを実施している。公共交通の充実をお願いしたい。また、どういった人が、どのような目的で利用するのかを調査して、きめ細かいルート選定等を行ってほしい。(三重県伊勢警察署)

地域検討部会の実施を通して、コミュニティバスだけではなく幹線を含めて、意見やニーズの収集を行っていただきたい。(三重県)

いただいた意見に基づいて、コミュニティバスを含めた地域公共交通の改善に向けて、利用状況等の分析をきめ細かく実施することを今後の課題として、提案事項に関しては原案どおり承認をいただいた。

○その他

■ 伊勢市公共交通網形成計画の進捗状況について（報告）

事務局より、伊勢市公共交通網形成計画の進捗状況について、資料を用いて説明。

ＩＣカードの利用状況について教えていただきたい。（会長）

地元の方の利用については、あまり進んでいない。県外から来る観光客は鉄道系のＩＣカードを多く利用いただいている。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

運転免許返納者向けのフリー定期券であるセーフティパス及び交通系ＩＣカードは使い方が分からずに、利用に一步を踏み出せないでいる人もいるのではないかと。実演などを見れば利用に踏み切りやすい。民生委員等が地域で話をしてもらうときの話題にもなる。（市民代表）

県内の市町で高齢者を対象とした乗り方教室を開催しているところもある。三重交通（株）と協力して実施するもので、利用方法などを案内し、利用に一步を踏み出せないでいる人にきっかけを提供している。（三重県）

セーフティパスは三重県北勢地域に比べて南勢地域では利用が少ない。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

運転免許返納者は運転経歴証明書を提示すると運賃が半額となることを知って、証明の申請をするケースがある。同伴者１名も半額となるのが大きい。（三重県伊勢警察署）

運転免許返納の支援については、これまで免許を取得していなかった高齢者との公平性の確保について、配慮が必要。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

三重県ではあまり導入が進んでいないが、全国的には運転経歴証明書の提示により公共交通機関の割引だけでなく、商業施設での割引等の特典が多く導入されているところもある。（三重県伊勢警察署）

■ 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果について（報告）

事務局より、地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果について、資料を用いて説明。

■ おかげバス運行10周年記念事業（案）の変更について（報告）

事務局より、おかげバス運行10周年記念事業（案）の変更について、資料を用いて説明。

おかげバスを利用する毎に応募ができるのか。（市民代表）

⇒利用する毎に応募できる。1回の抽選では当選者の重複を避けるようにしたい。

（事務局）

■ その他

全庁的に連携を取って、おかげバスのルート沿線でイベントを開催するときは、おかげバスが利用できる旨を併せて案内してはどうか。おかげバスの詳細を記載しなくても、検索窓等を記載して市ホームページ等から情報を取得してもらえるように誘導すればよい。
（市民代表）